宅地造成又は特定盛土等に関する工事の変更許可申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 宅地造成及び特定盛土等規制法第16条第１項の規定により、変更の許可を申請します。　　　　年　　月　　日　　　　西　宮　市　長　　殿申請者　氏名 | ※手数料欄 |
| １ | 工事主住所氏名（法人役員住所氏名） | 住所　氏名　　　　　　　　　　　電話　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２ | 設計者住所氏名 | 住所　氏名　　　　　　　　　　　電話　 |
| ３ | 工事施行者住所氏名 | 住所　氏名　　　　　　　　　　　電話　 |
| ４ | 土地の所在地及び地番（代表地点の緯度経度） | （緯度：　　度　　分　　秒 、 経度：　　度　　分　　秒） |
| ５ | 土地の面積 | 平方メートル |
| ６ | 工事着手前の土地利用状況 |  |
| ７ | 工事完了後の土地利用 |  |
| ８ | 盛土のタイプ | 平地盛土　・　腹付け盛土　・　谷埋め盛土 |
| ９ | 土地の地形 | 渓流等への該当　有・無 |
| 10　工　　事　　の　　概　　要 | イ | 盛土又は切土の高さ | メートル |
| ロ | 盛土又は切土をする土地の面積 | 平方メートル |
| ハ | 盛土又は切土の土量 | 盛　　土 | 立方メートル |
| 切　　土 | 立方メートル |
| ニ | 擁壁 | 番　号 | 構　造 | 高　さ | 延　長 |
|  |  | メートル | メートル |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ホ | 崖面崩壊防止施設 | 番　号 | 種　類 | 高　さ | 延　長 |
|  |  | メートル | メートル |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ヘ | 排水施設 | 番　号 | 種　類 | 内法寸法 | 延　長 |
|  |  | センチメートル | メートル |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ト | 崖面の保護の方法 |  |
| チ | 崖面以外の地表面の保護の方法 |  |
| リ | 工事中の危害防止のための措置 |  |
| ヌ | その他の措置 |  |
| ル | 工事着手予定年月日 | 年　　　　月　　　　日 |
| ヲ | 工事完了予定年月日 | 年　　　　月　　　　日 |
| ワ | 工程の概要 |  |
| 11 | その他必要な事項 |  |
| 12 | 変更の理由 |  |
| 13 | 許可番号 | 第　　　　　　　号 |
| ※受　付　欄 | ※決　裁　欄 | ※許可に当たつて付した条件 | ※許可番号欄 |
| 年　　月　　日 |  |  | 年　　月　　日 |
| 第　　　　　号 | 第　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |
| 〔注意〕 １　※印のある欄は記入しないでください。 ２　申請者、１欄の工事主、２欄の設計者又は３欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 ３　１欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。（別紙可） ４　２欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。 ５　３欄は、未定のときは、後で定まつてから工事着手前に届け出てください。 ６　４欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従つて測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 ７　８欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。 ８　９欄は、渓流等（令第７条第２項第２号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。 ９　11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。 |

　※１～３欄の者が工事監理者となる場合は、当該欄中にその旨記載してください。別に工事監理者を配置する

場合は、工事監理者の住所、氏名（法人の場合は名称及び氏名）、電話番号を別途提出してください。

〔注意〕

|  |
| --- |
| 変　更　箇　所　一　覧　表 |
| 図面名称等 | 変更種別 | 変更内容 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

1. 変更種別には変更、追加又は削除のいずれかを記入し、各図面の右下表題欄付近に「変更前」、「変更後」、「追加」、「削除」と記載する。変更の場合は各図面を「変更後」「変更前」の順で綴じ、変更前図面において変更箇所を赤字囲み等で明確に示す。なお、擁壁構造計算や流量計算等の計算書については、変更後のみの添付でよい。